

姫路市総合計画

ふるさと・ひめじプラン2020

みんなが大人になる頃 姫路のまちは
こんなまちになります！こんなまちにしていきたいです！



姫路市

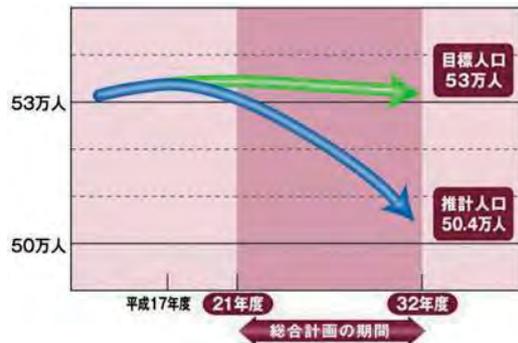


平成32年度（2020年度）までの姫路のまちづくりの指針となる総合計画「ふるさと・ひめじプラン」を作りました。

総合計画とは、これから市が取り組んでいくまちづくりの方向を示す計画で、目指すべきまちの将来像や計画を進めていくに当たっての基本的な考え方を記載したものです。

■ これからの姫路 ■

- 人口が減少し、少子・高齢化が一層進んでいきます。姫路市の人口も、平成32年（2020年）には、今の53万人から50.4万人に減少すると見込まれています。
- 経済環境が大きく変化する中、人々の働く場の確保や労働者の生活の安定を図るため、経済の活力を維持していかなければなりません。
- 環境問題の深刻化に対して、地球環境の再生が重要になってきます。
- これまで以上に安全で安心できる健全な社会が求められています。
- 市民もまちづくりの担い手であり、市民と行政がそれぞれの役割を果たしながら、地域の課題解決や特色ある地域づくりに取り組んでいかなければなりません。
- 高齢化が進む中で、高齢者が社会の中でいろいろな役割を担いながら生涯にわたりいきいきと活躍できる社会を実現しなければなりません。
- 地域資源に磨きをかけて有効に活用する「あるもの活用」を基本として、住みよい元気な地域をつくるなど、都心部だけではなく、市内各地域で生活圏の充実を図らなければなりません。
- 世界的な研究開発機能（SPring-8）や世界に誇れる歴史文化遺産（姫路城）など、まちの長所を将来の発展につなげていかなければなりません。



これからは、このような大きな社会経済情勢の変化に的確に対応した、姫路独自のまちづくりが求められています。

■ 姫路のまちづくりの考え方 ■

みんなが誇りを持てるまちをつくり、未来の子供たちに引き継いでいく。この計画の大きなテーマは「ふるさと・ひめじ」の継承です。

みんなが姫路の自然、人、歴史・文化を愛し、いつまでも守り続けたいと思えるまちにしたい。そんな思いで「ふるさと・ひめじプラン」では、姫路のまちづくりの基本的な考え方を、

「自然との共生」

播磨の豊かな自然や環境から受ける恵みに感謝して、より豊かなものとして未来に引き継いでいく

「人と人との共生」

文化や世代の違いを超えて互いに尊重しあい、市民が主体となってまちづくりに取り組んでいく

「歴史・文化との共生」

先人から受け継いだ歴史や文化を大切にしながら、さらに磨きをかけて未来に引き継いでいく

という、3つの共生による「共生のまちづくり」としています。



■ 総合計画の内容 ■

皆さんが大人になる平成32年度（2020年度）までの12年間の計画で、社会経済情勢の変化に対応して、まちの人口を維持し、まちを元気にすることにより、「生きがいと魅力ある 住みよい都市」を実現していくこととしています。

計画の実現に向けて4つの目標を定めて取り組んでいきます。

- 1 ふれあいと賑わいある ^{にぎ}協働・交流都市
- 2 風格と活力ある 歴史文化・産業都市
- 3 やさしさと信頼に満ちた 教育・福祉都市
- 4 自然豊かで快適な 環境・利便都市

■ 「生きがいと魅力ある 住みよい都市 姫路」の 実現に向けた取り組み■

1 ふれあいと賑わいある 協働・交流都市

～ 一人ひとりが豊かな生活を実感し、
人・もの・情報などが交流するまちへ ～



市民の参加によるまちづくりを実現します。



市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現します。



豊かで活力ある情報交流社会を実現します。



他都市との交流や国際交流による交流社会を実現します。



観光客を温かく迎える国際観光・コンベンション都市を実現します。

具体的な取り組みとして、



地域夢プラン事業の推進

・ 地域資源を活用したまちづくりへの支援



市民活動・交流拠点の充実

・ 市民活動・ボランティアサポートセンターの充実



タウンミーティング等による広聴の充実

・ タウンミーティングの開催

・ 市民アイデアポストの活用



インターネットによる情報提供

・ ホームページによる市政情報の提供



校区人権教育・啓発の推進

・ 住民学習・啓発の実施

・ 小学校区ごとの人権学習・啓発の推進



タウンミーティングでは、様々なテーマについて市長と市民が意見を交換します

- ♣ 男女共同参画意識の啓発と学習機会の充実
 - ・ 男女共同参画に関する講演会、セミナー等の開催
 - ・ 啓発資料、パンフレットの作成
 - ・ 市民講師の育成

- ♣ 電子申請システムの拡充
 - ・ 対象手続の拡充・利用促進

- ♣ ゆかりのある都市との交流の推進
 - ・ 松本市、鳥取市との親善交流事業の推進
 - ・ 姫路・岡山・鳥取城下町物語推進協議会(HOTトライアングル)における交流事業の実施

- ♣ 海外都市との交流・協力の推進
 - ・ 海外姉妹都市等との親善交流
 - ・ 研修生の相互派遣



国際交流フェスティバルでは、いろいろな国の料理などが楽しめます



姫路観光ウィークでは、殿様やお姫様なども登場します

- ♣ おもてなしの人づくりの推進
 - ・ 観光ボランティア団体登録制度の充実
 - ・ 観光ボランティア団体の交流促進、ネットワークの構築

- ♣ 多様な観光の推進
 - ・ 産業ツーリズムの推進
 - ・ グリーンツーリズムの推進
 - ・ エコツーリズムの推進

- ♣ フィルムコミッション事業の推進
 - ・ 映画、テレビのロケ誘致と支援

皆さんにできること・してほしいこと  できたものからチェックを入れましょう

- ボランティアサポートセンターに行って、ボランティア活動に参加する
- 姫路市のホームページから、自分や家族など身近な人に役立つ情報を集める
- 外国語をしっかりと身につけたり、親善交流やクラブ活動を通じて、国内・外の姉妹都市の人たちと交流する
- 市外の方に「おもてなし」の心をもって説明できるように、観光地や特産品など姫路の魅力についての知識を身につける

2 風格と活力ある 歴史文化・産業都市

～ 歴史と文化に愛着をもち、活発な産業が多様な価値を生み出すまちへ ～



地域の経済を活性化し、雇用を創出する産業の振興を目指します。



姫路城をはじめとする歴史や文化を守り、個性ある市民文化をはぐくみます。



持続可能な財政を基本とした行財政改革を進めます。

具体的な取り組みとして、



企業誘致と立地支援の展開

- ・ トップセールスの推進
- ・ 企業との情報交換会の開催



就業への支援

- ・ わかものジョブセンターによる若年者就業支援
- ・ 雇用アドバイザーの活用



新製品等の市場開拓支援

- ・ 国内・海外展示会等への出展助成



商店街の活性化イベントへの支援

- ・ 全国陶器市、青空バザール、お休み処とオープンカフェの開催支援



地産地消を推進する朝市の開催

- ・ 農林漁業まつり、市民ふれあい朝市の開催
- ・ 姫路とれとれ海産物まつりの開催



平成22年7月、東部臨海部で世界最大級の液晶パネル工場が稼働を始めます



農林漁業まつりでは、農水産物の直売のほか、地元の小学生が育てた大根の販売などいろいろな販売コーナーがあります

🌱 姫路城大天守保存修理事業の推進

- ・ 壁、屋根の補修や耐震補強の実施
- ・ 修理期間中ならではの見学機会の提供

🌱 文化財の調査と保存

- ・ 文化財の調査と指定・登録の検討
- ・ 文化財保存修理への助成
- ・ 史跡の保存整備



修理期間中は天守閣を素屋根で覆い、内部に見学用施設を整備します



🌱 国際的な芸術文化にふれる機会の提供

- ・ 姫路国際音楽祭（ル・ポン）の開催

🌱 文化発信拠点施設の活用

- ・ 美術館、科学館などの充実



🌱 事務事業の見直し

- ・ 全事業総点検の実施

世界的バイオリニスト榎本大進氏を音楽監督に迎え、世界中から一流の演奏家を招いて姫路国際音楽祭「ル・ポン」を開催します

皆さんにできること・してほしいこと  できたものからチェックを入れましょう

- 将来、どんな職業につきたいか考え、その職業について調べる
- 地元でとれた食材を使って料理をつくる
- 美術館や科学館などに行き、文化・芸術、科学を身近に感じる
- 姫路市の市税にはどのようなものがあるか調べる
- 姫路市の税金で自分がどのような行政サービスを受けているか調べる

3 やさしさと信頼に満ちた教育・福祉都市

～ すべての人が互いに支え助け合い、安心して暮らせるまちへ ～



互いに助け合い、安心して暮らせる地域社会を実現します。



未来を担う子供たちの夢や希望をはぐくむ、魅力ある教育を進めます。



生涯にわたって学び、その成果をいかせる社会を実現します。

具体的な取り組みとして、



福祉人材の育成

- ・福祉ボランティアの活動支援と育成
- ・認知症サポーターの養成



多様なニーズに応える保育サービスの充実

- ・延長保育、一時保育、休日保育の推進



親育ちのための学習機会の充実

- ・子育て学習センター活動の充実
- ・子育て講演会の実施



高齢者の自主的な生きがいづくり活動への支援

- ・生涯現役地域活動助成事業の実施
- ・老人クラブ活動への支援



こどもの発達支援センターの整備と機能充実

- ・発達障害専門医療機関としての機能の充実



健康増進のための啓発・教育・相談の充実

- ・健康教育、ヘルスアップ教室、禁煙教室の実施
- ・生活習慣病相談の充実



認知症に対する正しい知識を持ち、認知症の人とその家族を地域で温かく見守る「認知症サポーター」の養成講座を開催しています

魅力ある姫路の教育創造プログラムの推進

- ・小中一貫教育の推進
- ・ジュニア姫路検定の実施
- ・総合教育センターの機能充実

相談事業の充実

- ・メンタルヤングアドバイザーの活用
- ・姫路っ子悩み相談事業の実施

生きる力の育成

- ・「わかる授業」への取り組み促進・支援
- ・部活動の振興



総合教育センターでは、教職員や児童生徒・保護者への総合的な教育支援を行います

公民館活動の充実

- ・教養講座、地域講座、文化講座の充実

子育て教室の充実

- ・あすなる教室、父親教室の充実

地域スポーツ活動の活性化

- ・市民ラジオ体操のつどい、市民歩こう会、市民体力テスト会等の実施



地域の公民館で開かれる講座に参加することで、人と人との新たなつながりが生まれます

皆さんにできること・してほしいこと できたものからチェックを入れましょう

- 認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に対する正しい知識を身につける
- 健康的な生活習慣を身につける
- 学校行事などの交流を通じて、年下の子供たちを温かく見守り、ふれあいながら、学校のことや勉強のことなどを一緒に考える
- 部活動に積極的に参加し、活動を通じて仲間同士のきずなを深める
- 地域の公民館活動やスポーツ活動に参加して、地域とのつながりをもつ

4 自然豊かで快適な 環境・利便都市

～ 自然との共生・資源循環を実現し、誰もが安全安心な生活ができるまちへ ～



豊かな自然環境を守り、環境への負荷を低減します。



災害に強く、安心して暮らせる地域社会を実現します。



^{にぎ}賑わいと活力にあふれる都心部を形成します。



地域の特性をいかしたゆとりある快適な生活環境を実現します。

具体的な取り組みとして、



低炭素社会への転換に向けた環境率先行動の推進

- ・低公害車の普及の推進
- ・ノーマイカーデーの取り組みの推進



ごみの減量化・リサイクルの推進

- ・レジ袋削減運動の推進
- ・ペットボトル、紙パック等のリサイクル促進



エコパークあぼしの活用

- ・ごみ焼却施設の運営
- ・環境楽習センターの運営



防災啓発の推進

- ・ハザードマップ等を活用した災害危険情報の周知
- ・ひめじ防災プラザの活用



公共建築物の耐震対策の推進

- ・校舎等の耐震化・大規模改修
- ・市民会館、地区市民センター等の耐震化



まち美化運動の一年の締めくくりとして、毎年12月に行われる「全市一斉清掃」では、100tを超えるポイ捨てごみが集まります



エコパークあぼしは焼却施設のほか、ごみ処理の余熱を利用した温水プールや広大な芝生広場などを備えた、地球環境に優しい未来型の施設です



応急手当の普及啓発

- ・ 救急講習会の実施（AEDの使い方や心肺蘇生法の普及啓発）
- ・ 応急手当指導員の養成



健康安全の確保

- ・ 新型インフルエンザ等感染症対策の推進
- ・ 国、県、医師会と連携した健康危機情報の収集と提供



AEDを使った救急講習会を開催し、一人でも多くの皆さんに応急手当を習得していただくことで、救命率が一層向上します



※このイメージパースは、サンクンガーデンと地上広場の一体性などの考え方を絵にしたものであり、実施設計の中で変更になる場合があります

姫路の新しい顔である北駅前広場を、便利でにぎわいある空間とするため、自動車の乗降場等を機能的に配置するとともに、サンクンガーデン等を整備します



姫路駅周辺の整備

- ・ 北駅前広場の整備
- ・ キャスティ21の推進



都心部の公共空間の活用

- ・ 大手前公園、家老屋敷跡公園の活用



ひめじ街路樹アダプト制度の推進

- ・ 街路樹アダプト制度の周知と運用



公共交通の利便性向上

- ・ 交通結節機能の充実
- ・ 民営バス路線維持確保対策事業の推進



上水道・下水道の整備

- ・ 水道施設の耐震化
- ・ トイレの水洗化促進

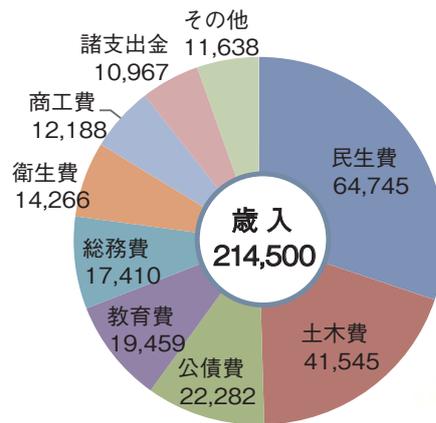
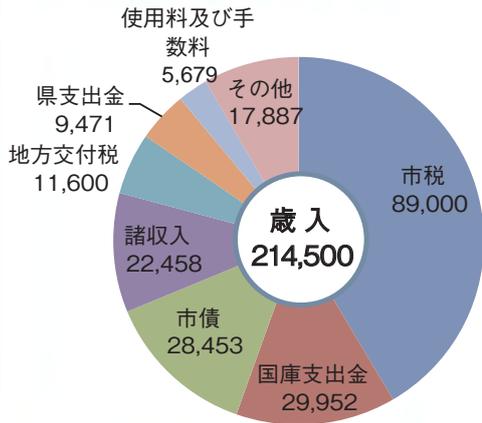


「ひめじ街路樹アダプト制度」では市民の皆さんと市が協働して植樹帯を中心とした道路の維持管理を行います

皆さんにできること・してほしいこと できたものからチェックを入れましょう

- 日常生活で自分が出すごみの量を減らすにはどうすればよいか考え、実践する
- 環境に優しい生活スタイルとはどのようなものか考え、実践する
- 救急講習会に参加して、AEDの使い方や心肺蘇生法を勉強しておく
- 自分なりの「地域に愛着と誇りをもてるまちづくり」について考え、家庭や学校でみんなでお話し合う

平成22年度の一般会計予算



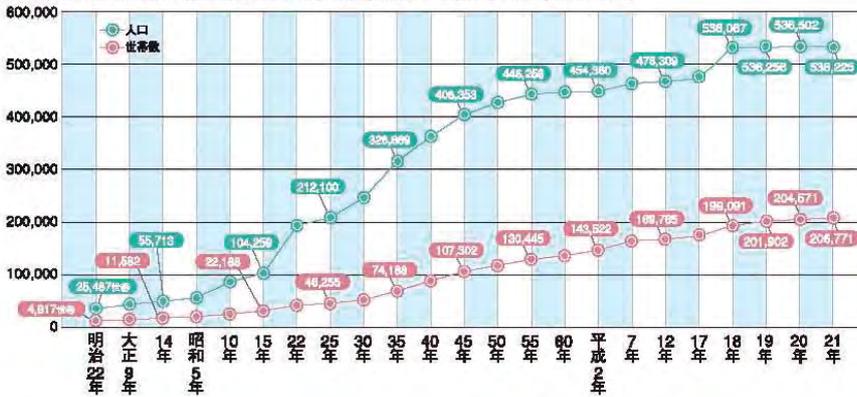
(単位 百万円)

姫路データランド

人口・世帯数の推移

資料:政策推進室

(人・世帯) ※数字は当時の姫路市域におけるもの。各年とも10月1日(明治22年は12月31日、平成21年は8月1日)現在



年間鉄道乗車人数

(平成19年度)

- JR姫路駅(新幹線を含む)
資料:西日本旅客鉄道
16,923千人
- 山陽姫路駅
資料:山陽電気鉄道
5,023千人

教育施設

上段資料:教育委員会(平成22年4月1日現在)
下段資料:学校基本調査(平成21年5月1日現在)



姉妹都市・友好都市



シャルルロア市
ベルギー
昭和40年7月19日提携



松本市
長野県
昭和41年11月17日提携



鳥取市
鳥取県
昭和47年3月8日提携



フェニックス市
米国
昭和61年11月3日提携



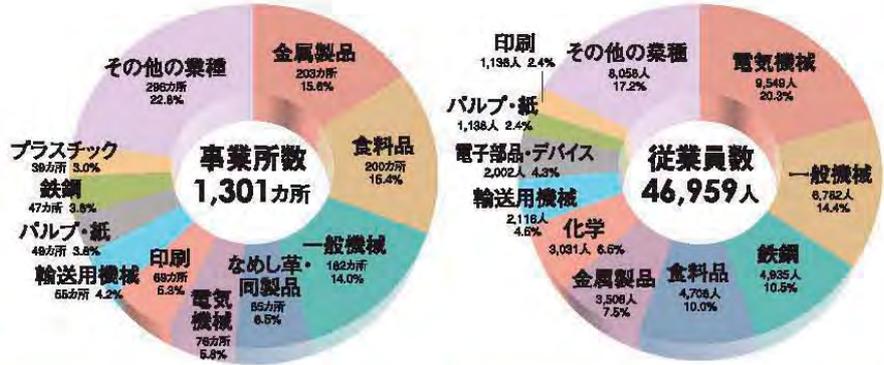
アデレード市
オーストラリア
昭和57年4月19日提携

データで見る
「ふるさと・
ひめじ」です



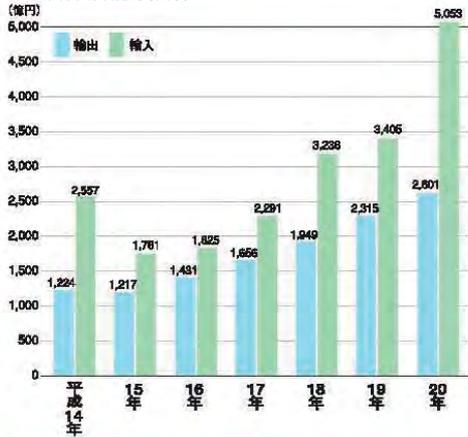
工業の産業別構成比

資料:政策推進室(平成19年工業統計調査。従業員4人以上の事業所)



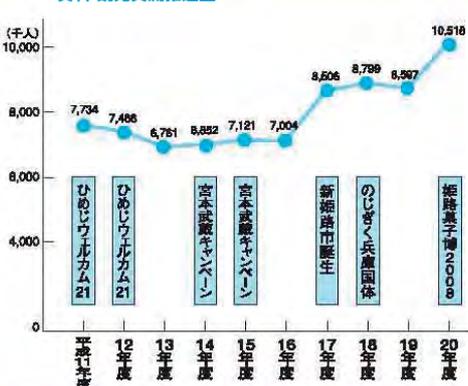
姫路港の輸出入額の推移

資料:姫路税関支署



観光客数の推移

資料:観光交流推進室



市民の暮らし

資料:政策推進室



クリチーパ市
チリ
昭和59年6月14日建設



太原市
中国
昭和62年5月20日建設



馬山市
韓国
平成12年4月18日建設



シャンティイ城
フランス
平成元年5月11日建設

	用語	解説	掲載ページ
あ 行	アダプト制度	行政が、道路・公園・河川など特定の公共財について、市民や民間業者と定期的に美化活動を行うよう契約する制度。本市では、植樹帯を中心とした道路の維持管理を行う「ひめじ街路樹アダプト制度」を導入	10
	AED	Automated External Defibrillatorの略。自動体外式除細動器。けいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器。平成16年（2004年）7月より医療従事者ではない一般市民でも利用できるようになり、病院や診療所、救急車をはじめ空港、駅、スポーツクラブ、学校、公共施設、企業など人が多く集まるところを中心に設置されている。	10
	エコツーリズム	観光旅行者が、自然観光資源について知識を有する者から案内または助言を受け、自然観光資源の保護に配慮しつつ自然観光資源とふれあい、これに関する知識及び理解を深めるための活動の総称。野生生物を観察するツアーや山里の暮らしを体験するツアーなど様々なエコツアーが行われている。	4
	エコパークあぼし	一般廃棄物等を処理するために、網干沖埋立地に整備した姫路市のごみ処理施設及び周辺施設の総称。焼却施設、再資源化施設に加えて健康増進センター、環境楽習センター、芝生広場等の周辺施設を併設する。焼却施設の処理能力は、1日最大約402tで、公設民営（DBO）方式を導入	9
	親育ち	子育てを通して、親自身が親として持つべき豊かな心、人間性などを身につけ、自ら成長していくこと	7
か 行	環境楽習センター（かんきょうがくしゅうせんたー）	エコパークあぼしに併設される、環境について子どもから大人まで楽しく学ぶことを目的とした姫路市の学習・啓発施設	9
	キャスティ21	昭和63年（1988年）に国の承認を得た姫路駅周辺整備事業の愛称。呼称は、「キャッスル（城）」と「シティ（都市）」に21世紀をあわせたもの	10
	グリーンツーリズム	農山漁村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。農林漁家民宿での宿泊、農林水産業等の体験活動のほか、直売所における農産物購入なども含まれる。	4
	交通結節機能	鉄道と自動車など異なる交通手段（または同じ交通手段）の接続が行われる場所（交通結節点）における通路、乗降施設、乗り換え待ちスペースなどの機能	10
	コンベンション	大会や会議、学会、展示会など、共通の目的・テーマを掲げて一定の場所に集まる様々な催しで、特に大規模なものを指す。	3
さ 行	再資源化施設	エコパークあぼしに設置する廃棄物の再資源化を図る姫路市のごみ処理施設。搬入されたごみを破碎、選別処理することにより、資源物の回収、分別を行い再資源化を図る。1日100tの処理を見込んでいる。	13

	用語	解説	掲載ページ
	産業ツーリズム	歴史的・文化的価値のある産業文化財(古い機械器具、工場遺構などの産業遺産)、生産現場(工場・工房等)及び特色ある製品を観光資源とし、それらを通じてものづくりの心にふれるとともに、人的交流を促進する余暇活動	4
	新型インフルエンザ	これまで人に感染しなかったインフルエンザウイルスがその性質を変え(変異し)、人へと感染するようになり、さらに人から人へと感染するようになった結果、発生する感染症	10
	SPring-8	Super Photon ring-8 GeVの略。播磨科学公園都市(たつの市、上郡町、佐用町にまたがる地域)に立地する施設。放射光を利用して、物質材料やその加工に関連した科学技術、生物物質に関連したライフサイエンスや医療など、極めて広範な分野での応用が期待されている。	1
た 行	地域夢プラン事業	地域住民が中心となって、歴史・文化・自然などの地域資源を見直し、これらをいかした地域の魅力を高めるプラン等を支援する姫路市の事業。平成16年度(2004年度)から実施	3
	地産地消	地域内で生産された農林水産物を地域内で消費するという考え方。つくった人がわかる新鮮な農林水産物が消費者に供給され、生産者と消費者の距離が近づくことにより、地域の農林水産業や農林水産物への理解や安心感が高まり、農林水産業の振興につながる。	5
	低炭素社会	地球温暖化を防止するため、省エネルギーやごみの減量化、リサイクル等を推進するとともに、そのことが生活の質の向上につながるとの方向性を社会全体として追求することにより、石油や石炭などを利用することで発生する二酸化炭素の排出を大幅に削減し、将来にわたる持続的な発展を可能にする社会	9
な 行	認知症サポーター	認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人やその家族を支援する人のことで、各地域で実施している認知症サポーター養成講座を受講することが必要。受講者にはシンボルグッズとして「オレンジリング」が渡される。	7
は 行	ハザードマップ	自然災害について、予測される被害の範囲や大きさなどの災害情報や避難所の位置、避難経路、緊急連絡先等の避難情報をわかりやすく掲載した地図	9
	ひめじ防災プラザ	総合的な体験を通して市民が防災の重要性を理解し、日頃から万が一に備えることができるよう、防災に関する知識と技術を学習することを目的とした施設	9
ま 行	メンタルヤングアドバイザー	市内の公立小中学校で「お姉さん・お兄さん」として、別室登校や保健室登校をする子供たちの相談相手となり学習支援を行う学生ボランティア	8
わ 行	わかものジョブセンター	市とハローワークが連携した若者の就職活動をサポートする施設で、市内駅前町の商店街内にある。専門のカウンセラーによる就職相談、職業適性診断、面接対策などのカウンセリングや求人情報提供などを実施	5

ふるさと・ひめじ

豊かな自然と温暖な気候につつまれ、
歴史・文化・産業が人々の生活と調和した都市、
「ふるさと・ひめじ」の魅力を再発見しましょう

- 7世紀 国府が置かれる
- 8世紀 国分寺が置かれる
- 966 性空上人によって
圓教寺開かれる



書写山圓教寺

- 1580 羽柴秀吉 三層の天守をもつ姫路城築城
(1581完成)

- 1601 池田輝政 五層の天守をもつ現在に残る
姫路城を築城(1609完成)

城下町として栄え、鉄鍛冶、木綿、
皮革などの殖産を振興



皮革細工



明珍火箸

- 1889 姫路市誕生 我が国初の市制を施行

- 1924 旧制姫路高等学校開校

臨海部に製鉄業などの重工業が進出
播磨工業地帯の中心に



旧制姫路高等学校講堂
(登録有形文化財)
現・兵庫県立大学新在家キャンパス



ゆかたまつり



灘のけんか祭り



我が国屈指の企業が建ち並ぶ臨海部



世界文化遺産姫路城



大手前通り

戦後復興図られる

- 1955 大手前通り完成
- 1993 国宝姫路城 世界文化遺産に登録される
- 1996 中核市に移行

- 2006 市町合併により新姫路市誕生
- 2008 JR姫路駅の高架化完了



高架が完了したJR姫路駅



海、山、川、田園風景など本市の多彩な自然環境
(左上:雪彦山、左下:夢前川、右上:播磨灘、右下:北部の田園風景)

- 2009 「ふるさと・ひめじプラン2020」
スタート

姫路市総合計画 中学生版

発行 平成22年(2010年)4月
姫路市 姫路市安田四丁目1番地
TEL 079-221-2111(代表)
<http://www.city.himeji.lg.jp>



本格的な整備が始まるJR姫路駅北駅前広場周辺

2020
ふるさと・ひめじの
未来への継承

